令和7年度昇段審査等学科試験問題

剣　　道

段別	問	題
初　段	1　問	剣道における「三とおりの礼」について説明しなさい。
	2　問	「三つの間合い」について説明しなさい。
二　段	1　問	「稽古で心がけなければならないこと」について述べなさい。
	2　問	「四つの足捌き」について説明しなさい。
三　段	1　問	「打突の好機」について説明しなさい。
	2　問	中段の構えの「正しい姿勢」と「目付け」について述べなさい。
四　段	1　問	「正しい鍔競り合い」について説明し、指導上の留意点を述べなさい。
	2　問	「日本剣道形修錬の必要性」について述べなさい。
五　段	1　問	「指導者としての心構え」について述べなさい。
	2　問	「打ち込み稽古」と「掛かり稽古」の違いを説明し、「打ち込み稽古」指導上の留意点について述べなさい。
A 級 公認審判	1　問	「有効打突」について説明しなさい。
	2　問	令和6年9月1日に「剣道試合・審判・運営要領の手引き」が改正されたが、改正の要点を記しなさい。
B・C級 公認審判	1　問	「審判員の心得」の一般的要件と留意事項について述べなさい。
	2　問	正しい鍔ぜり合いについて述べなさい。

居　合　道

段別	問	題
初　段	1　問	あなたの居合道に対するイメージ（心の中に思い浮かべる姿・像）を述べなさい。
	2　問	全剣連居合の「作法（礼法）」について述べなさい。
二　段	1　問	全剣連居合修業の目的を述べなさい。
	2　問	一本目「前」の要義を記し、注意することを述べなさい。
三　段	1　問	全剣連居合と剣道の関係を述べなさい。
	2　問	七本目「三方切り」の要義を記し、注意することを述べなさい。
四　段	1　問	日本剣道形「五行の構え（五つの構え）」について述べなさい。
	2　問	十本目「四方切り」の要義を記し、注意することを述べなさい。
五　段	1　問	居合道演武の心得について述べなさい。
	2　問	全剣連居合の審判・審査上の着眼点を述べなさい。

杖　　道

段別	問	題
初　段	1　問	「全日本剣道連盟杖道」における礼法について述べなさい。
	2　問	琉祖名及び「神道夢想流杖道」の発祥について述べなさい。
二　段	1　問	「全日本剣道連盟杖道」の制定形12本の名称を記入しなさい。
	2　問	形の必要性について述べなさい。
三　段	1　問	杖道の指導精神について述べなさい。
	2　問	目付について説明し、その必要性について述べなさい。
四・五段	1　問	広島県で受審、受審者で問い合わせて下さい。
	2　問	

学科試験は、剣道については日本剣道形、居合道・杖道、審判法については実技の合格者を対象に実施しますが、審査受付時に答案用紙を提出して下さい。

【注　意】

○ 答案用紙は**「B4版原稿用紙」**を使用し、問題毎に原稿用紙1枚（**200字以上400字未満**）に**自筆**で記入して下さい。

※「B4版原稿用紙」を使用していない答案用紙が散見されますので注意してください。

○ 答案用紙には1行目の書き出しに**「受審段位等」**、やや空けて**「氏名」**、2行目に**「問題番号」**を記入し、3行目から回答を記入して下さい。

※ 受験番号～受付係が記入するので、記入の必要無し。

※ **「受審段位等」・「氏名」・「問題番号」**の記入漏れの無いよう注意して下さい。

※ 原稿用紙を折らずに見開きで右上をホッチキスで閉じて下さい。